

平成十八年度東京都予算に関する復活要望書

平素より、市町村の行財政運営について、格別の御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、都内における市町村財政は、未だに非常に厳しい状況に置かれております。歳入においては、地方分権により、国から多くの事務が移譲されているにもかかわらず、税財源の移譲は一部の実施に止まっています。

また、歳出においては、各市町村の懸命な経費削減努力にもかかわらず、高齢社会の進展による介護需要等の増加や、子育て支援への対応、依然として遅れている都市基盤整備への対応など、多くの課題が山積しております。

こうした中で、平成十八年度東京都予算（原案）は、大幅な税収の増加等によって、五年ぶりに六兆円を超え、将来をにらんだ取り組みにも重点配分を行っております。

東京都は、このような状況を十分にご賢察され、左記による多摩島しょ地域関連予算の復活につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 一 東京都市町村総合交付金の大幅な増額を図ること。
- 二 子育て支援基盤整備包括補助の大幅な増額を図ること。
- 三 市町村土木補助及び市町村下水道整備費補助の大幅な増額を図ること。
- 四 架空線地中化事業の推進及びみちづくり・まちづくり・パートナー事業の大幅な額の復活を図ること。
- 五 三宅島災害復旧・復興特別交付金及び財団法人東京都島しょ振興公社に対する貸付金の大幅な額の復活を図ること。

平成十八年一月十八日

東京都市長会会長

稲城市長 石川 良 一

東京都町村会会長

日の出町長 青木 國太郎

東京都知事 石原 慎太郎 殿